

カリキュラム設計担当者養成プログラム（上級編）  
「学習成果を可視化するーカリキュラムと評価の両面からー」  
（文部科学省教育関係共同利用拠点事業）

関係各位

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

このたび、下記の通りカリキュラム設計担当者養成プログラム（上級編）「学習成果を可視化するーカリキュラムと評価の両面からー」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

**【趣旨】**

「学習成果」には、一定の学習期間終了時にどんな知識や能力を身につけさせたいかという「意図された学習成果」の意味と、実際にどんな知識や能力を身につけたかという「達成された学習成果」の意味の両方が含まれています。これをどう可視化するかというのは、現在の大学教育の重要課題の一つです。

本講座では、教育課程論、教育評価論の観点から、この課題について考えます。学位プログラムレベルと授業科目レベルをつなぎながら、カリキュラムと評価をデザインするための理論と方法、及びその取組事例（医療系、工学系・文理融合教育）をご紹介します予定ですが。

なお、本講座（上級編）の受講証明書は、本年度7月に実施された基礎編を受講された方のみ発行いたします。受講証明書の発行が必要ない方は、基礎編の受講・未受講関係なく本講座（上級編）を受講できます。

**【日時】** 令和元年 11月15日（金）13:30～16:00（受付開始 13:00）

**【会場】** 九州大学 伊都キャンパス ジョナサン・KS・チョイ文化館

[https://www.kyushu-u.ac.jp/f/35762/2019ito\\_2.pdf](https://www.kyushu-u.ac.jp/f/35762/2019ito_2.pdf) ※キャンパスマップ 75 番です。

**【定員】** 70名（先着順）

**【参加費】** 無料

**【対象】** 学習成果に基づく大学教育に関心のある大学教職員、大学院生

**【講師】** 松下佳代（京都大学 高等教育研究開発推進センター・教授）

**【プログラム】**

1. 学習成果の可視化を意識したカリキュラムと評価のデザインについて、その理論と方法を学ぶ。
2. 取組事例（医療系、工学系・文理融合教育）を通して、その具体化のあり方を考える。

【参加申込】 <http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/form/#form20191115>

ウェブサイト内の申込フォーマットにてお申し込みください。

【申込締切】 11月11日（月）17:00（ただし、定員に達し次第、受付を終了します。）

【参加者へのお願い】

- ・当日は報告書等利用のための写真撮影を行います。予め、ご承知おき下さい。
- ・駐車場は限られておりますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

【問い合わせ先】

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

Tel: 092-802-6070 E-mail: kyoten★artsci.kyushu-u.ac.jp (★を@に置き換えて下さい。)

(タイトルに【9/13 九大 AL 教室】と記載して頂けると幸いです。)

\*平成28年7月に、九州大学基幹教育院は「教育関係共同利用拠点」として文部科学省から認定され、その実施組織として「次世代型大学教育開発センター」を設置いたしました。教育関係共同利用拠点とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものです。

次世代型大学教育開発センター ウェブサイト：<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/>

以上